

妻の育児不安と夫の理解(3)

猪野 郁子(島根大)

目的：妻の育児不安を夫がどの程度理解しているか。妻と夫のコミュニケーションや妻夫間の信頼関係が妻の育児不安等にどの様に関わっているか。について報告してきた。ここでは、夫の育児状況への理解、育児以外の家事への支援(手伝い)、妻との信頼関係が、妻の育児不安等を軽くしていることを報告した。

最近、育児休業をとる夫や妻と育児を共有する夫が増えている。夫達が育児に携わるようになると、妻と同様に育児不安を持つのであろうか。今回は、夫達の育児不安等について報告する。

方法：島根県内の10保育所の保護者(父親) 868人を対象に、質問紙調査を実施した。東西に長い島根県であるが対象者の選出場所が片寄らないように配慮した。質問紙の内容は夫の育児家事参加・育児に関わる感情・育児観等である。回収率は72.8%であった。

結果：1)父親は子育てにおいて重要な役割を持ち、かつ自分も成長できると考え、育児の役割には肯定的である。2)何等かの育児に参加している父親は多いが、手間のかかる世話は敬遠している。3)公務員の父親は、核家族の父親は、育児に有意によく参加している。4)肯定的な育児観を持っている父親も育児によく参加している。5)育児における負の感情(育児不安や負担感)はほとんどの父親は感じていない。6)育児参加の多い父親ほど育児不安感を持つ傾向がある。